

「越前陶芸公園」の指定管理者候補者の選定について

越前陶芸公園の指定管理者の申請の募集について、越前陶芸公園指定管理者選定委員会の審査結果を踏まえ、指定管理者候補者を次のとおり選定いたしました。

- 1 団体名 EPP コンソーシアム（代表企業：(株)グリーンシェルター）
- 2 所在地 福井県坂井市丸岡町小黒 70-6-1
- 3 指定期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日までの5年間

4 選定理由

当該団体は、越前陶芸公園指定管理者選定委員会の審査において、福井県都市公園条例で定める指定の基準に適合しており、かつ最も優れたものと評価されました。

特に、幅広い客層に向けた取り組みや地域との連携、広報手段の拡充などの提案内容が優れており、県内外の同様な施設の管理運営実績を有しているなど安定した運営が可能である点において、指定管理者にふさわしいと認められることから、当該団体を指定管理者候補者に選定します。

5 申請団体数（申請受付順）

3団体

- ①(株)エイチ・アイ・エス 代表取締役社長 矢田 素史（東京都港区虎ノ門四丁目1番1号）
- ②EPP コンソーシアム
代表企業：(株)グリーンシェルター
 - ・(株)グリーンシェルター 代表取締役 小西 皓（福井県坂井市丸岡町小黒 70-6-1）
 - ・(株)ティーツウー 代表取締役 徳照 貴寿（福井県福井市中央2丁目4番28号藤川ビル）
 - ・(株)日本旅行 TiS 福井支店 支店長 海老名 聡（福井県福井市中央1丁目1番25号）
- ③クリンテック・ウララ共同事業体
代表企業：(株)クリンテック
 - ・(株)クリンテック 代表取締役 中村 大輔（福井県敦賀市木崎 2-4）
 - ・(株)ウララコミュニケーションズ 代表取締役 三田村 浩實（福井県福井市板垣 3-1510）

6 選定委員会での審査結果

① 選定委員会委員

木野 龍太郎	福井県立大学 経済学部 教授
橋本 洋子	Palette Design 主宰
新藤 聡子	越前焼作家
家山 有美	Ustyle 代表
荒木 一男	福井県産業労働部商業・市場開拓課 課長

② 審査結果

審査基準	配点	申請団体名（総合得点順）		
		EPP コンソーシアム	(株)エイチ・アイ・エス	クリンテック・ウララ共同事業体
1 県民の平等な利用を確保することができるものであること	必須 (確保されないと認める場合失格)	適	適	適
2 管理施設の効用を最大限発揮するものであること ・ 管理施設の設置目的と事業内容との適合性 ・ 施設および設備の維持管理、利用者（使用者）へのサービス向上のための取組み内容 ・ 施設の利用促進のための取組み内容 ・ 広報宣伝・集客業務への取組み内容 ・ 陶芸公園の賑わい創出に関する独自提案についての新規性、革新性、実現可能性	200	171	164	152
3 管理の経費の縮減が図られるものであること ・ 管理運営にかかる県（へ）の支出（納付）経費（次の算定方法などにより算出する）	150	150	150	150
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【当該提案者の点数】＝配点（30点）× ②／①</p> <p>※ ①は当該申請者の提示額 ②は最も低額の提示を行った申請者の提示額</p> </div>		569,416 千円	569,425 千円	567,667 千円
4 管理施設の管理を安定して行う能力を有するものであること ・ 人的能力（管理運営組織、人員配置等）、物的能力（収支計画、資金調達、トラブルや危機管理対応等）の内容 ・ 申請者の実績（賑わい創出を目的とする同種または同一の施設の管理運営実績） ・ 申請者の安定性、信頼性（財務状況、資産、提携団体） ・ 業務全般に対する取組み姿勢	150	142	127	107
総合得点（満点500） ※ 点数は5名の選定委員の採点の合計点	500	463	441	409

③ 講評

- 審査基準①については、各団体とも適と評価された。
- 審査基準②については、EPP コンソーシアムの幅広い客層に向けた取り組みや地域との連携、広報手段の拡充について高く評価された。クリンテック・ウララ共同事業体は越前焼の認知度向上につながるイベントの提案が高く評価されたが、県外からの誘客についての具体的な取組の提案が十分ではないと評価された。株式会社エイチ・アイ・エスはこれまでのイベント開催実績について高く評価されたが、産地の作家や他の伝統工芸産地との連携が十分ではないと評価された。
- 審査基準③については、クリンテック・ウララ共同事業体、EPP コンソーシアム、株式会社エイチ・アイ・エスの順で高い評価がなされた。
- 審査基準④については、EPP コンソーシアムの県内外の同様な施設運営の実績、業務全般に対する取組み姿勢など、管理運営体制の誠実さが評価された。
- 以上を合計した総合得点はEPP コンソーシアム、株式会社エイチ・アイ・エス、クリンテック・ウララ共同事業体の順に高く、EPP コンソーシアムが最も高い評価となった。

様式第17号(第13条関係)



2023年10月 6日

福井県知事 様

申請者 主たる事務所の所在地 福井県坂井市丸岡町小黒70-6-1

名称および代表者の氏名 E P P コンソーシアム
代表団体 株式会社グリーンター
代表取締役 小

指定管理者指定申請書

越前陶芸公園の管理に関する業務を行いたいので、福井県都市公園条例第16条第2項の規定により、下記の書類を添えて、申請します。

記

- 1 越前陶芸公園の管理業務に関する事業計画書
- 2 定款もしくは寄附行為および登記事項証明書またはこれらに準ずる書類
- 3 申請の日の属する事業年度の前事業年度における財産目録、貸借対照表その他財務の状況を明らかにする書類(申請の日の属する事業年度または前事業年度に設立された法人その他の団体にあつては、その設立時における財産目録)
- 4 申請の日の属する事業年度における事業計画書および収支予算書
- 5 役員の氏名、住所および略歴を記載した書類
- 6 越前陶芸公園の管理業務を行う組織および運営に関する事項を記載した書類
- 7 現に行っている業務の概要を記載した書類
- 8 国税および地方税について、未納の徴収金がない旨の証明書
- 9 福井県都市公園条例第17条各号に掲げる基準に適合していることを確認するために知事が必要と認める書類

越前陶芸公園の管理業務に関する事業計画書

1 団体の概要

団体の種別	財団法人 社団法人 株式会社 有限会社 NPO 法人 <u>その他</u> (乙型共同企業体)
団体名	E P P コンソーシアム
所在地	福井県坂井市丸岡町小黑 7 0 号 6 番地 1
代表者名	代表取締役 小西 皓
電話番号	0 7 7 6 - 6 7 - 1 2 6 0
F A X 番号	0 7 7 6 - 6 7 - 0 2 2 0
メールアドレス	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
設立年月日	【グリーンシェルター】 1 9 7 5 年 (昭和 5 0 年) 1 0 月 2 日 【ティーツー】 1 9 8 7 年 (昭和 6 2 年) 8 月 1 日 【日本旅行】 1 9 4 9 年 (昭和 2 4 年) 1 月 2 8 日
資本金 (基本財産)	【グリーンシェルター】 5, 0 0 0 万円 【ティーツー】 1, 0 0 0 万円 【日本旅行】 1 億円
従業員数	【グリーンシェルター】 令和 5 年 9 月 3 0 日現在 ■■■■■ 人 【ティーツー】 令和 5 年 9 月 3 0 日現在 ■■■ 人 【日本旅行】 令和 5 年 1 月 1 日現在 ■■■ 人
主な事業内容 (必要に応じ別紙)	【グリーンシェルター】 総合建設事業 (土木工事、造園工事、舗装工事、建築工事他) 自然エネルギー事業 (風力発電、コンサルタント) 環境アセスメント事業 (自然環境再生、原風景再生) 指定管理事業 (施設運 型) 総合警備事業 (交通警 安警備、施設警備) 【ティーツー】 営業・経営企画のマーケティング・コンサルティング業務 商品企画・CI 計画に関する一切の業務 広告宣伝の企画制作に関する一切の業務 イベントに関する運営、施工業務 【日本旅行】 旅行業 各種の乗車船券・入場券、観覧券等の受託販売 各種の広告に関する事業 国際・国内会議の開催及び各種催事の企画、立案ならびに運営に関する請負 旅行・観光、文化に関するセミナーの開催ならびにコンサルタント業務 旅行に関する物品の販売ならびに取次 旅行に関する図書、雑誌等の刊行ならびに販売 結婚式場、披露宴会場、貸衣装のコンサルタント業務と挙式用品類の斡旋ならびに販売 ホテル、旅館、食堂、喫茶店ならびに観光施設の経営 観光地の開発に関する企画、立案ならびにコンサルタント業務 貸電話業

国内ならびに国際航空船舶運送代理業
自動車運送取扱事業
損害保険代理業ならびに生命保険の募集に関する事業
金融貸付業、両替業ならびにその他金融サービスに関する事業
商品券、前払式支払手段の発行及び販売ならびに取次
古物の売買及びその受託販売
不動産の売買、賃貸借ならびに管理に関する事業
コンピュータによる情報処理サービスならびに情報提供サービス
労働者派遣業
倉庫業
通訳、翻訳業
観光みやげ物、食料品、清涼飲料水、酒類、たばこ、郵便切手、収入印紙、医薬品、医薬部外品、日用品雑貨等の販売・通信販売及び輸入ならびにその取次
印刷業
総合リース業
建設工事の設計、施工、請負および監理ならびにこれに関するコンサルタント業務
警備業

	名称	所在地	業務内容	運営期間
同種の施設の管理運営業務の実績 (必要に応じ別紙) 【補足説明】 広島県内の施設については、当社子会社(広島緑地建設株式会社)の実績	テレポート福井総合公園	福井県坂井市	<ul style="list-style-type: none"> 総合公園の維持管理に関する業務 利用の許可、利用の許可の取消し、利用の制限その他の利用に関する業務 	平成26年度 ～現在に至る
	坂井市ゆりの里公園	福井県坂井市	<ul style="list-style-type: none"> ゆりの里公園の維持管理に関する業務 ゆりの里公園の利用の許可に関する業務 ゆりの里公園の利用に係る利用料金の徴収に関する業務 その他、「仕様書」に定める業務 	令和5年度 ～現在に至る
	国営備北丘陵公園	広島県庄原市	<ul style="list-style-type: none"> 業務全体のマネジメントおよび企画立案業務 施設・設備維持管理業務 植物管理業務 事業者の提案により独立採算で行う収益施設の運営および自主事業(収益施設等設置管理運営業務) 	平成22年6月 ～現在に至る
	広島県縮景園	広島県広島市	【縮景園】 <ul style="list-style-type: none"> 園内施設および駐車場の利用の許可等に関する事 施設および附属設備等の維持管理ならびに修繕に関する事 庭園管理技術者の育成、確保に関する事 入園券の販売および入園料の徴収に関する事 利用案内等に関する事 伝統文化行事等の実施及び伝統文化に関する学習活動の支援に関する事 等 	平成24年度 ～平成28年度
	広島県縮景園および広島県立美術館	広島県広島市	【美術館】 <ul style="list-style-type: none"> 県民ギャラリー、講堂および駐車場の利用の許可等に関する事 施設および附属設備等の維持管理ならびに修繕に関する事 入館券の販売および入館料の徴収に関する事 	平成29年度 ～現在に至る

			<ul style="list-style-type: none"> ・利用案内等に関すること ・美術等に関する学習活動の支援及び情報発信に関すること ・特別展の開催に関すること 等 	
	廿日市市福祉健康増進保養センター 道の駅スパ羅漢	広島県廿日市市	<ul style="list-style-type: none"> ・スパ羅漢の事業の実施に関する業務 ・スパ羅漢の利用の許可に関する業務 ・スパ羅漢の利用促進に関する業務 ・スパ羅漢の施設および設備の維持管理に関する業務 等 	平成26年度～令和3年度
提携団体名	(複数の団体により構成されたグループにより申請する場合に記入すること) 株式会社グリーンシェルター 株式会社ティーツー 株式会社日本旅行			
主な協力団体名				

2 管理運営基本方針

※事業計画の基本方針、福井県陶芸館と越前古窯博物館の一体運営による効率化、地域の活性化および産業振興のための取組み、地域および関係機関との連携方法等を記載してください。

基本方針

新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、社会の在り方そのものを大きく変化させました。

生活様式が日常に戻りつつある今、新しい時代に対応した新しい価値観が芽生え、行動制限緩和に伴うインバウンド需要回復の兆しも見えてきており、2024年3月16日の北陸新幹線の福井・敦賀開業を絶好の契機と捉えた様々な取り組みが必要となっています。

私たちが変わらず持ち続けている「安心・安全の確保」「お客様の満足度向上」を変えることなく、越前焼をはじめとする福井県の伝統工芸の振興および販路拡大、インバウンドを含めた誘客など、すべての年代層に魅力を感じてもらえる越前陶芸公園の運営業務に臨みます。

◎ 得意分野を活かした共同運営

～三者共同体として、それぞれの強みである「誘客・集客」、「広報・イベント」、「公園等の維持管理」の分野ごとの能力やノウハウを最大限活かした戦略的運営を行います～

◎ 魅力度向上による誘客と販路拡大

～六古窯の一つとしての魅力と自信を醸成し、誘客、販路拡大につなげます～

◎ 集団から個へ

～一人ひとりの体験、体感を応援し、来場のお客様の満足度アップを図ります～

これらの基本方針を踏まえ、訪問者の個々のニーズや要望に対応し、インバウンドを含めた誘客業務を重要取り組み事項として、質の高い越前陶芸公園の管理業務を行います。

福井県陶芸館と越前古窯博物館の一体運営

1. 一体運営によるサービスの向上

- 共通のテーマを掲げた取り組み
(例) 福井県の戦国時代陶芸文化を具体的に紹介
- 歴史文化のストーリー性を持たせた展示
(例) 古窯博物館：古代の陶芸技術に焦点を当てた作品の展示
陶芸館：現代の陶芸家の作品を展示
- 共通のチケットの継続
- 定期的な共同イベントやプログラムの開催:
(例) 陶芸ワークショップや講座を実施し施設の魅力を提供

2. 一体運営による管理業務の効率向上

- 共通したプロモーションおよびマーケティング戦略
ウェブサイト、SNS、観光ガイドブックを活用した情報発信
- スタッフの資質向上
両施設スタッフの相互間協力（双方の施設でも対応可能なトレーニングを実施）
- 評価および改善策の共有
定期的な訪問者からの意見や評価をフィードバックして改善策を検討
利用者の意見や要望を反映させ、満足度向上に向けた取り組みの実施

このように、共通のビジョン、連携した展示、共同プログラム、マーケティング戦略、意見のフィードバックを通じて、利用者にとってより豊かな体験を提供し、両施設の魅力を最大限に活かすことを目指します。

地域の活性化および産業振興のための取組み

1. 地元産業との連携

- 地元の陶芸産業と連携
(例) 地元の陶芸家や工房との共同のプロジェクトや商品の開発
- 地元食材を活用
(例) 様々なイベントと地元食材とのコラボレーション
- 交流人口増加による地域コミュニティの醸成
(例) 文化や伝統を活かした地域イベントやフェスティバルの開催
越前陶芸公園を拠点とした周辺エリアの観光誘致

2. 地域への貢献

- 地域の社会貢献活動への積極的な参加
(例) 地域一員として様々な活動に参画

これらの地域に密着した取り組みや地域の資源を最大限に活用することで、地域の活性化と産業振興に貢献し持続可能な体験型観光公園としての地位向上を目指します。

地域および関係機関との連携方法

1. 越前焼工業協同組合との協同
 - (例) 地元の陶芸家や陶芸工房と連携した陶芸体験や陶芸作品の展示販売
2. 観光連盟・観光協会との相互協力
 - (例) 福井県観光連盟や越前町観光協会と連携したプロモーション活動
 - 観光客の誘客促進に向けた戦略協議
 - 連盟や協会が参画する商談会への参加
3. 地元食材との提携
 - (例) 地元食品業者との提携や地元農産物活かした BBQ メニューの造成
 - ワンランク上の「てぶらでバーベキュー」の実施
4. 地域の教育・文化の振興
 - 地元の学校や文化団体と連携した陶芸教育プログラム・ワークショップの提供
 - 陶芸技術や芸術に触れる機会を提供した文化と芸術の発展をサポート
5. 行政機関との情報共有
 - 福井県や丹南地区の自治体との連携
 - (例) 地域の観光振興・文化活動・二次交通・災害時対応などの協議

これらの連携を通じて、地域の活性化と発展に寄与するとともに、地域のニーズや要望を踏まえ、福井県や越前町などの自治体方針や施策との整合性を図りながら観光及び地域振興に繋がる施設運営を行います。

3 管理運營業務計画

(1) 施設および設備の維持管理、利用者へのサービス向上のための取組み

※施設の維持管理の取組みやサービス水準、利便性の向上、トラブル防止や苦情処理方法、利用者の安全対策等を記載してください。

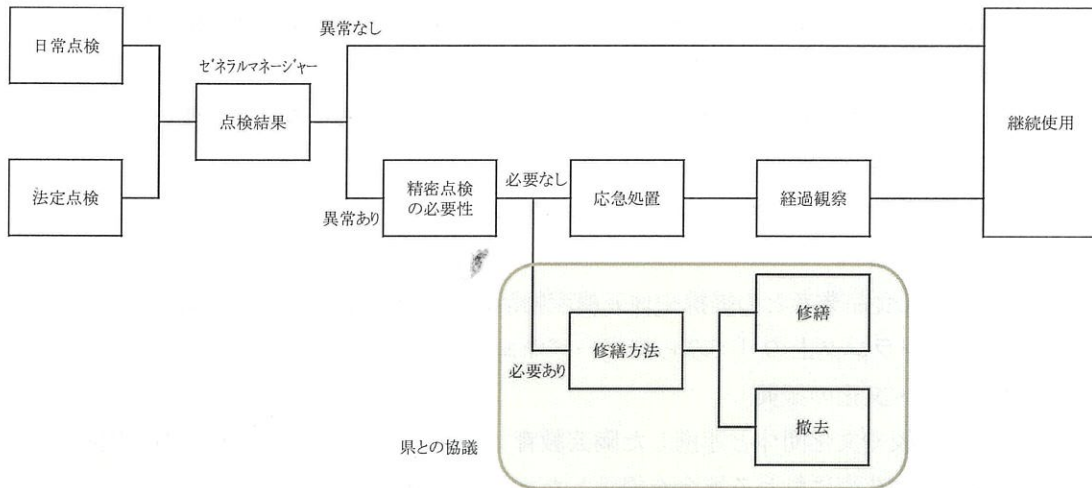
施設の維持管理についての取組み

安全且つ効率的な施設の維持管理を行うため、職員による巡視や専門業者による検査等を実施し、福井県と連携しながら利用者の安全確保や利便性の向上にむけた施設の維持管理に努めます。

設備点検一覧

点検名称	点検箇所	回数	点検者	概要マニュアル
日常巡視 パトロール	園内全域	毎日 1 回	シニアマネージャー	園内巡視チェックリスト

重点点検		月 1 回	所長	重点点検箇所チェックリスト
遊具安全点検	遊具	年 1 回	専門業者	遊具点検チェックリスト 遊具の安全に関する基準
各施設 法定点検	各施設	施設毎	専門業者	各施設点検マニュアル等



1. 施設や設備の定期的な点検とメンテナンスの実施

チェックリストを作成し、異常や劣化の早期に発見に努め、計画的にメンテナンス作業を実行します。

2. 清掃と衛生管理

施設内外の衛生管理を徹底し、衛生基準を遵守します。

3. 設備の修繕と更新

劣化した設備や施設の状況を把握し、軽微な修繕に関しては迅速に対応します。
安全面に影響がある箇所や重度の修繕・更新は福井県へ報告するとともに緊急に対応します。

これらの定期的な点検・メンテナンスや修繕を行うことで、施設の長寿命化および安全を確保し、快適な公園環境と施設の運用効率を高めます。

サービス水準の向上

1. 来場者への情報提供

ウェブサイトやSNSを活用した魅力ある情報を積極的に提供します。

2. 働きやすい環境づくり

スタッフの意欲向上は来場者の満足度向上にもつながることから、やる気につながる働きやすい環境づくりに努めます。

3. スタッフのトレーニングと教育

スタッフの対応力、情報提供能力、安全管理能力のスキルアップにつながるトレーニングと教育を実施し、サービスの向上につなげます。

4. 来場者ニーズの把握

来場者アンケート調査のフィードバックを通じて、利用者がどのようなサービスや体験を望んでいるかを把握し改善策を講じます。

5. アクセシビリティの取り組み

障がいをもたれた方への配慮や、高齢者などの特別なニーズに対応するためのアクセシビリティに取り組み、誰でも楽しめる施設を目指します。

6. キャッシュレス決済システムの推進

現在導入している PayPay 以外に、新たに Air レジを設置し、インバウンドにも対応できるクレジットカードや他の QR コード決済の導入を推進します。

このようなサービス水準向上の基本的な取り組みを実施しながら、その時の施設状況や多岐にわたるニーズに対応して来場者の満足度向上を目指します。

利便性の向上

1. ウェブサイトや SNS による情報提供

スマートフォンに対応したホームページのリニューアルによる最新情報の提供

SNS を活用した幅広い広報活動の展開

オンライン予約システムの導入

2. アナログ情報提供の充実

デジタル媒体に限らない情報掲示板や案内パネルを入口や施設内に設置

3. バリアフリー設計

車椅子利用者や高齢者目線に立った利便性向上に向けた取り組み

視覚障害者や聴覚障害者向けの案内システム導入などの検討

4. 駐車場と交通アクセスの改善

・ イベント時の駐車場不足解消対策

民間駐車場の借り受けの検討

・ 公共交通機関との連携

公共交通機関事業者との利便性向上についての協議

5. 言語サポート対応

外国からの観光客に対する多言語に対応できるアプリ導入の検討

6. 全世代向けの新しいメニュー設定

家族連れが楽しめるメニューの設定や「手ぶらでバーベキュー」設備導入の検討

7. 近隣飲食施設との連携

近隣飲食店への施設割引券設置

利便性の向上は、訪問者の満足度を高め、施設の魅力を強化する重要な要素です。

これらの取り組みを通じて、越前陶芸公園の利便性を更に向上させ、幅広い世代が集える公園を目指します。

トラブル防止や苦情処理方法

<トラブルの未然防止策>

1. リスクマネジメント

- ・プロジェクトで起こりうるリスクを出来る限り排除、低減を目的とした取り組み
- ・利用者の安全性に関するリスクやサービス提供に関するトラブル、人的トラブル、物理的トラブルなどスタッフの共通理解の促進

2. スタッフトレーニング

- ・全てのスタッフに対してのトラブル解決トレーニングの実施
- ・礼儀、親切丁寧な対応、諸問題に対し冷静に対処できる能力の養成

3. 案内板での情報提供やウェブを活用した事前情報提供

- ・公園内でのルール順守案内パネルやポスターの設置
- ・ウェブサイトやアプリを通じたリアルタイム情報や料金体系の情報提供

4. 設備保守点検

- ・故障や事故の未然防止を目的とした設備や施設の定期的な保守点検
- ・施設や公園内で発生した危険箇所や修繕箇所の周知
- ・監視カメラ増設の検討

<苦情処理方法>

1. 苦情受付体制の確立と適切な初動体制の構築

- ・苦情を受け付ける窓口や連絡先を明示し、苦情が寄せられた場合は迅速かつ丁寧に接し、真剣に受け止めていることを相手に示して対応します。
- ・相手を尊重し、解決にむけて内部で十分な調査を重ねて具体的対策を検討します。
- ・苦情提出者に問題の解決状況を分かりやすく伝え、誠意を持って話し合い、解決を目指します。

2. 苦情の記録

- ・苦情の内容、提供者の情報、日時など詳細な記録を取り、改善に向けて対応します。

3. 改善策の共有と実施

- ・苦情が継続的に発生する場合、その背後にある問題を特定し、改善策を講じます。

4. 再発防止の徹底

- ・フィードバックした内容を共有し再発防止に取り組みます。

管理運營業務におけるトラブル防止と苦情処理は、訪問者の満足度を高め、公園の評判を維持するための重要事項です。積極的かつ効果的な対策を講じ、訪問者に安心感と信頼感を提供する運営を目指します。しかしながら、当施設に落ち度が無く理不尽な要求などが発生した場合は、毅然とした態度で対応しなければならないケースも想定して臨みます。

利用者の安全対策

1. セキュリティ体制の整備

公園内の巡回パトロール実施、監視カメラが不足の場合は増設も検討します。

2. 危険箇所の警告

危険な場所や行動に関する警告標識を設置し、訪問者に注意を促します。

(例) 園内歩道の根上がり箇所や滑りやすいエリアなど

3. アクセシビリティの向上

車椅子利用者や高齢者目線での修繕箇所を見極め対応します。

4. 周辺環境の安全確保

公園周辺の環境にも視野を広げ、安全なアクセスの確保に努めます。

5. 子供向け安全策対策

遊具や施設の安全性を確保し安心して遊べる環境を提供します。

6. 天候急変や自然災害への備え

天候の急変や自然災害に備え、訪問者に適切な情報提供とアドバイスを行います。

7. スタッフの意識向上

スタッフに対して緊急事態発生時対応をトレーニングし、訪問者の安全を確保するための意識を醸成します。

利用者の安全対策は、人々の安全を確保することが最重要事項ですので、定期的に見直しを行い、来場者に安心感と信頼感を提供できる公園を目指します。

(2) 施設の利用促進のための取組み

※業務の項目ごとの運営方法や運営体制を含め、具体的な実施計画を記載してください。また、過去に実施例(同種施設も可)があれば合わせて記載してください。

ア 陶芸教室の利用ならびに企画および実施に関する業務

1. 陶芸教室のプログラム開発

初心者～上級者まで幅広いレベルの参加者を対象とした陶芸教室プログラムの造成

(例) 基本的な手技から高度な技術を学べるコース

子供向けのプログラム

家族向けのワークショップ など

2. 質の高い陶芸技術を提供するプログラムの造成

(例) 越前焼工業組合と業務提携したプログラム

プロフェッショナルな陶芸講師として窯元を講師としたプログラム

3. プロモーションと広報

ウェブサイトやSNSを活用した陶芸教室プログラムの広報

4. イベントとテーマ型ワークショップ
季節や特別なイベントに合わせたテーマ型ワークショップや陶芸イベントの実施
5. 予約システムの提供
陶芸教室予約のオンライン受付システム導入の検討
6. 参加者の作品展示
参加者の作品を公園内に展示する場の提供

イ 茶室・茶苑の利用ならびに企画および実施に関する業務

1. 茶道体験プログラムの開発
地元の茶道愛好家や団体と連携
茶道体験による茶道の基本を学ぶ機会の提供
初心者から上級者向けまで対応した様々なプログラムの提供
2. 茶道家との連携
質の高い茶道教育を提供し、茶道の歴史や文化についての学びを提供
3. 茶室の整備と保守
茶室や茶苑の美観の維持（定期的なメンテナンスの実施）
4. 茶室イベントとシーズナルなプログラム
季節や特別なイベントに合わせた特別なお茶会の開催計画
旬な季節の抹茶やこだわった和菓子提供、季節の花を楽しむイベントなどの開催
5. 料金設定と割引プログラム
リーズナブルな価格の体験メニュー設定（茶道が身近に感じれる体験）
6. 茶道と陶芸のコラボレーション
陶芸と茶道を組み合わせた特別なプログラムやイベントの開催
自分で作った茶碗を使って茶道を楽しむ機会の提供

ウ 陶芸実演・体験コーナーの運営に関する業務

1. プロの陶芸家の招聘
越前焼工業組合等と連携し、経験豊富な陶芸家を招聘
2. 陶芸体験・ワークショップの開催
初心者向けから上級者向けまでの幅広い体験プログラムを提供
手ひねり、ろくろ、絵付けワークショップなどの開催

エ 教育普及・生涯学習活動に関する業務

1. 定期的なワークショップと講座
陶芸のワークショップや講座を定期的に行い、訪問者に実践的な陶芸体験を提供
初心者向けから上級者向けまで幅広いコースを設定

2. 学校や子供会との連携

近隣学校や地域の子供会と連携したプログラムの提供

3. シニア向けプログラム

シニア向けの陶芸プログラムの提供

4. 情報発信

誘客担当者と近隣の学校や子供会関係団体に出向いての営業活動展開

ウェブサイトを活用したプログラムの情報提供

- 教育や生涯学習の場を提供することで、さらなる地域との連携構築や越前陶芸公園の魅力を発信し、越前陶芸公園を文化的な拠点として再認識してもらえるように取り組みます。

オ スーベニアショップの運営に関する業務

1. 陶芸作品の展示

陶芸作品を展示し、訪問者に越前焼の魅力を提供

2. 伝統工芸品の提供

越前焼の他、丹南地区の伝統工芸品や地域の文化や産業を紹介

越前焼と越前打ち刃物など丹南の伝統工芸品のセット販売の協議

4. ウェブショップの運営

オンラインショップ運営に向けて関係者と協議

5. プロモーション

スーベニアショップの存在をアピールし、マーケティング活動を展開

6. イベント販売

特別なイベントの際に、スーベニアショップで限定商品を販売

7. スタッフのトレーニング

商品知識に関するトレーニングを実施し、親切で質の高いサービスを提供

(3) 広報宣伝・集客業務の取組み

※広報ツールの作成や各種SNSの活用、集客ターゲット層に応じたプロモーション活動等、具体的な実施計画を記載してください。また、自社媒体やマスメディアの活用等、独自の広報宣伝ルートやノウハウを活かした戦略的な広報宣伝・集客活動例を記載してください。

戦略的かつ魅力を伝える情報発信

1. ホームページのリニューアル

インターネット広告や検索エンジン最適化（SEO）を活用して、オンラインでの可視性を高めます。積極的なオンラインアプローチを実施し、インバウンドも視野に入れた、新しい顧客を獲得することに注力します。単なるイベント情報の更新だけではなく、有意義な情報を提供します。

○内容を一新し、窯元情報提供や、バーチャルツアー等の構築を図り、定期的な情報更新を行います。

○英語・中国語等に表記対応したオンラインショップを開設し、国内だけではなく、国外顧客の獲得を図ります。

○パソコン・スマートフォンのどちらにも対応し、見やすさ、利便性を高めます。

○ものづくりのまちである、越前町の魅力を沢山のの人に届けるために、陶芸ファン、工芸ファン、福井ファン、それぞれが共感できるコンテンツの開発を行い、WEB マガジン形式でのPRを実施します。

2. オンラインプレゼンスを強化した幅広い広報の展開

越前焼の最大のアピールポイントである六古窯は、その背後に豊かな歴史や文化があります。それらのストーリーを SNS などを通じて動画配信を行い、現地に来ないと知り得ない魅力を訴求します。

○話題性を創造できる YouTuber とタイアップしたインフルエンサーマーケティング

(例) YouTube チャンネル登録者数 185 万人を超えるカズさんに、越前焼のアイテムを取り上げ動画内でご紹介いただく。本人の口から使用感、特性などを語っていただくことにより、多くの方に越前焼を知っていただくとともに、その魅力を伝えます。

○六古窯の豊かな歴史や文化を伝えるため、「日本六古窯」と連携、発信します。

(例) 全国「日本六古窯」との連携を図り、新しい取り組みとしての情報発信を行います。



交流人口拡大に向けた誘客戦略

☆新幹線開業効果を組み込んだ誘客戦略☆

1. 知ってもらおう・・・JR西日本との強固な関係を最大限に活用した広報活動

- ・WESTERやtabiwa（JR西日本アプリ）を活用した広報
- ・おとなび（50歳以上）会員200万人へのアプローチ
- ・日本旅行主要駅支店でのPR活動（ポスター掲示・チラシ配布）



2. 来てもらおう・・・様々なメニューの確立

※北陸新幹線開業に併せた「北陸デスティネーションキャンペーン」を活用※

<個人客向けメニュー>

- ・WEB専用商品の開発
- ・魅力あるプランの造成
(例) レンタカープラン、窯元見学・体験ツアー、六古窯めぐりツアーなど
- ・tabiwaアプリを活用
(例) 越前tabiwaパス（土日限定福井県内周遊パス）に越前陶芸公園を設定

<団体向けメニュー>

- ・魅力あるプランの造成
(例) 福井発着ツアー、定期的な観光バスツアー、モニターツアーなど
- ・校外学習・修学旅行の誘致

<インバウンド誘客への取り組み>

- ※「歴史・伝統文化体験」「自然・景勝地」「食」がインバウンドのキーワード
- ・日本旅行の海外ネットワークを活用したメルマガ配信や様々な商談会へ積極的に参加し福井県伝統文化の魅力を発信する
- ・海外旅行会社向けのモニターツアー実施の可能性調査

日本旅行の旅行取り扱い額（千円）

	海外旅行 (アウトバウンド)	外国人旅行 (インバウンド)	国内旅行
2022年度	¥ 41,432,033	¥15,724,401	¥200,449,508
2019年度	¥109,536,992	¥47,564,716	¥267,540,456

H社の旅行取り扱い額（千円）

	海外旅行 (アウトバウンド)	外国人旅行 (インバウンド)	国内旅行
2022年度	¥ 89,527,946	¥2,687,020	¥54,618,745
2019年度	¥372,109,223	¥24,081,621	¥56,519,014

※ 観光庁 主要旅行業者取扱額2022年度総計を元に作成 ※

㈱日本旅行の強み

国内旅行・・・歴史に基づく実績が豊富である

全国に支店を有し、個人・団体・教育旅行に対応している

外国人旅行・・・アメリカや東南アジアなど主要地域などに海外支店を有している

海外有力旅行会社との信頼関係および連携が強固である

インバウンド事業は約60年近くの歴史・実績がある

㈱日本旅行の指定管理実績

・ 呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）および呉市入船山記念館

平成20年度～（現在4期目）

凸版印刷㈱・㈱トータルメディア開発研究所・㈱日本旅行・ビルックス㈱



・ 三重テラス 令和5年度～

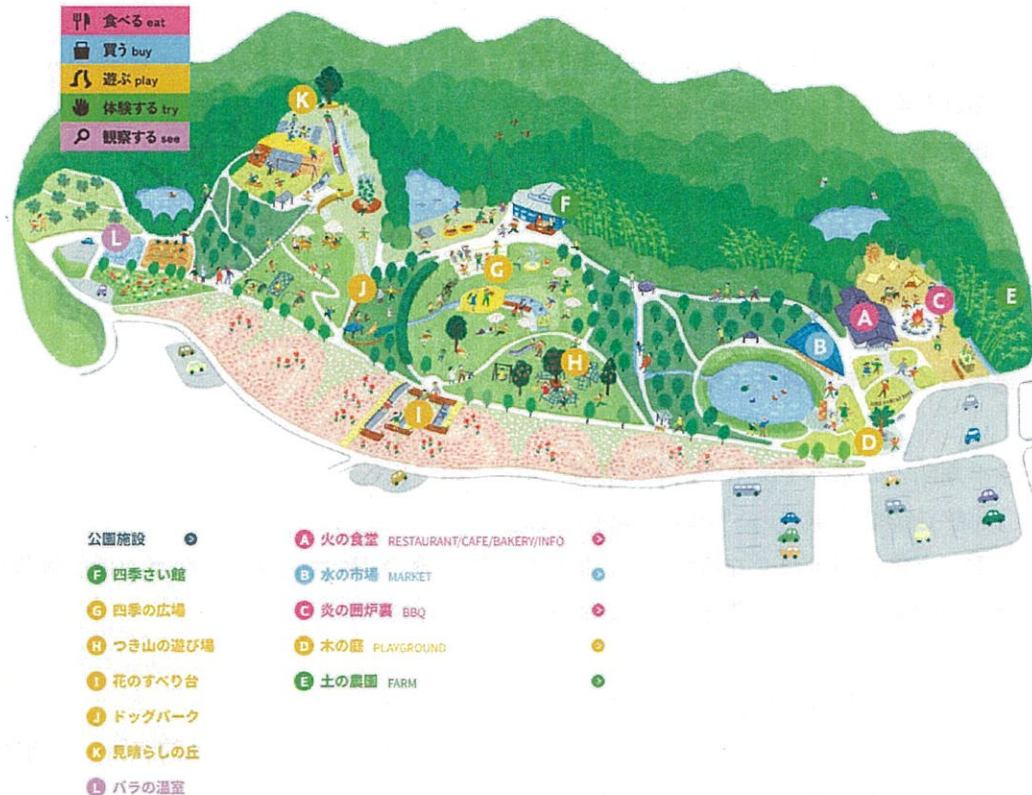
㈱日本旅行・アイズ㈱・㈱淡味

・道の駅四季の郷公園 令和4年度～

(株)JR西日本コミュニケーションズ・(株)日本旅行 その他7社

PLACE

食べて、遊び、ときに学び、育む。自然と向き合い、食を楽しむ5つのエリア。



(4) 陶芸公園の賑わい創出に資する取組み

※業務の項目ごとの運営方法や運営体制を含め、具体的な実施計画を記載してください。また、過去に実施例(同種施設も可)があれば合わせて記載してください。

ア 多くの集客が見込まれるイベント等の企画および実施に関する業務

1. 集客増、越前焼の認知度向上、ターゲット層拡大につながるプログラムの開発
越前陶芸公園を産業と地域のハブ拠点と位置づけ、全国の工芸文化の交流拠点、地域文化の発信拠点としての賑わいを創出します。
2. 越前焼の伝統を守りつつ新しいアイデアを幅広く取り入れたイベントの開催
○越前焼 × コーヒーフェスティバル タイアップイベント
越前焼のミニサイズのオリジナルマグカップの作成を行い、来場者はそのオリジナルマグカップが入場チケットとなり、コーヒーフェスティバルに参加可能



○越前焼 × 旧水野九右衛門家住宅 × 生け花展の開催
作家さんにご協力を仰ぎ、越前焼の花器を用いた生け花の展示会を開催
女性集客、生け花を行う方々に対して越前焼産地とのつながりを構築してもらい、持続的な購入を促進

○陶芸館 × 陶芸タッチイベント
年代別陶芸ワークショップとして（小学生・中学生・高校生以上）どの年代にも「土にふれる楽しさ」「作る楽しさ」を体感できるワークショップを企画

○陶芸館 × 和菓子作りワークショップ
色とりどりの和菓子と、越前焼の器を同時に購入できるイベントを開催し、女性、ファミリー層をターゲットにした集客
越前焼の器で和菓子を楽しむことができる喫茶コーナーの併設も検討

イ 地域づくりと観光振興に関する業務

1. 冬季期間での県外 PR イベントの参画

○北陸新幹線沿線でのプチ陶芸体験の実施

冬季など集客が少なくなる時期に、北陸新幹線沿線の JR コンコースなどで越前陶芸公園の周知活動やプチ陶芸体験など、認知拡大・魅力発信

2. 越前焼以外の福井県伝統工芸との広域連携体制の構築

丹南エリアの伝統工芸広報活動を複合的・効果的に実施するため、越前漆器・越前和紙・越前打刃物・越前箆笥との連携

3. 国際市場への展開

伝統工芸品は国際市場でも人気があるので、産地 PR の強化と輸出戦略による海外での販売を検討

行政や組合と連携し国際的な展示会やフェアに参加することも検討

4. 全国の作り手が自由に作品を発表、PR できる発信の場の提供

越前陶芸公園を産業と地域のハブ拠点となるべく、全国の工芸文化の交流拠点としての場所の提供及び、福井県のみならず全国から作品の募集

5. 平日は小・中学校における伝統・文化の教育が充実できる施設へ

平日は教育分野の強化として、「ものをつくることの楽しさ」を感じてもらい、また本物の伝統文化に触れてもらうことで、伝統工芸や日本の伝統文化に対する理解や関心をもつ機会を創造できる「教育の場所作り」に重点を置き、積極的な教育旅行、校外学習などの誘致を計画

越前焼の優れた伝統の継承と文化創造を生かした教育の場としての取り込みを展開

休日は季節やテーマに沿った集客力あるイベントを開催し、平日・休日の集客数に応

じたメリハリあるイベントや展示が行える施設として運営

ウ 越前陶芸公園の一体的な事業展開に関する業務

体験型観光交流公園と地域密着型都市公園の融合

※広報宣伝や誘客戦略と同時に公園の景観整備も重要な要素※

1. 適正な公園の維持管理および公園内緑化の再生

○小さなお子様やペットも安心して遊べる芝生広場の生育回復を施工します。

事例) 芝生土壌改良…遊具の周りの大きな水たまりを解消



⇒
2年後



○看板イベントの「しだれ桜」を見ごたえのある花の空間の主役に育てます。

事例) 根本も腐食していたケヤキの樹勢を回復

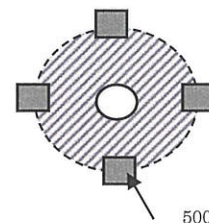


⇒
2年後



○桜の苗木の土壌改良を行い、生育を促します。

事例) スポット改良による排水層を設け樹勢回復



500×500×500

- 落葉樹の根上がりを解消しベビーカーや車いすも走行可能にします。
- イノシシなどの獣害対策として忌避植物（スイセンやヒガンバナ等）を植え付ます。
- 樹木の目的に応じた対策を施します。

事例) 緑陰（木陰を作る）、シンボリックな樹形や花を楽しむ、庭木として楽しむ



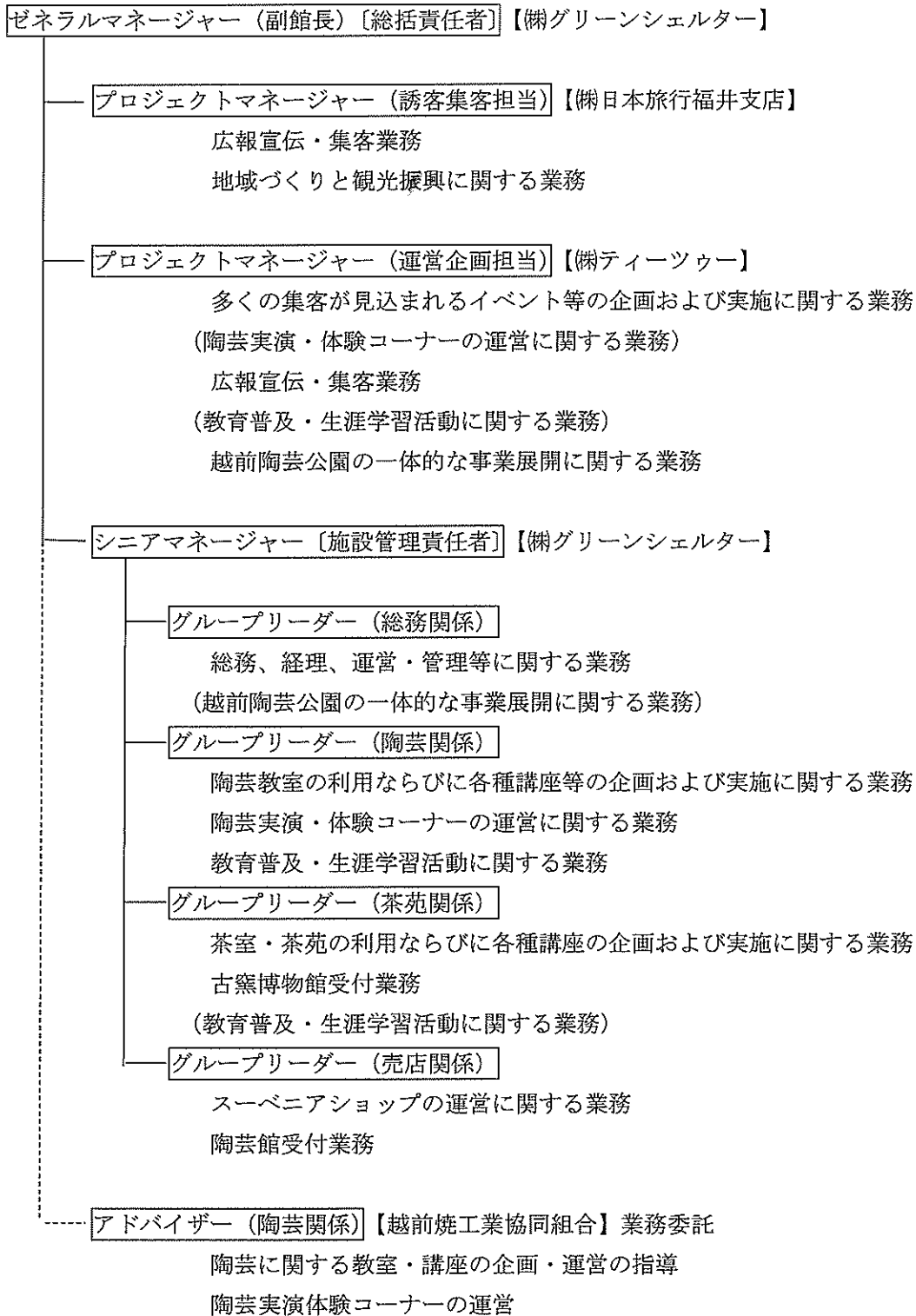
公園の景観整備は来場者をお迎えするための重要な要素であり、満足度向上にもつながることから、福井県の都市公園としての機能を維持しつつ広報宣伝や誘客戦略に取り組みが大変重要です。こうしたことを念頭に体験型観光交流公園と福井県の地域密着型都市公園を融合させた質の高い越前陶芸公園の管理業務を行います。

4 組織および人員配置

(1) 組織

※組織図および特徴等を記載してください。

全体組織図



陶芸に関するイベントへの助言およびサポート

注：プロジェクトマネージャーおよびグループリーダーの下にスタッフ（担当者）を置く。
 注：（大型）イベント等の開催に当たっては、チームを編成して対応する。
 注：上記は主たる担当業務を記載したものであり、必要に応じて、関係者間で役割を分担して業務を行う。（例：プロモーション活動、陶芸体験旅行や合宿等の誘致 等）

（２）人員配置等

※組織のすべての職員の担当業務、職種、雇用関係、経験年数、人件費見込額等を記載してください。業務上必要とされる資格等について、有資格者の氏名を記載してください。

施設管理人員の配置

職種	担当業務	雇用関係	雇用年数	人件費見込額 (千円/ヶ月)
ゼネラル マネージャー	総括責任者	従業員	1年	500
プロジェクト マネージャー	誘客集客責任者	従業員	5年	167
プロジェクト マネージャー	運営企画責任者	従業員	12年	167
シニア マネージャー	施設管理責任者	従業員	1年	417
管理職員 (2人)	誘客集客	従業員	1～3年	100～167
管理職員 (2人)	運営企画	従業員	1～3年	100～167
管理職員	施設管理	従業員	3年	283
管理職員 (9人)	陶芸教室	従業員・パート ・アルバイト	1～5年	183～283
管理職員 (6人)	古窯博物館 水野邸	パート ・アルバイト	1～5年	183
管理職員 (2人)	スペースショップ	パート ・アルバイト	1～5年	183

(26人)

公園管理に必要とされる資格者の配置

資格名	所有者	所属
食品衛生責任者	[Redacted]	(株)グリーンシェルター
危険物取扱者(乙種第4類)		(株)グリーンシェルター
甲種防火管理者		(株)グリーンシェルター

(3) 勤務体制

※勤務時間、ローテーション、休日設定等を記載してください。

人員	平日	土日祝日	勤務時間
ゼネラル マネージャー	交代で 4~1名従事	交代で 26~7名従事	8:30~17:30 の うち7.5時間以内
プロジェクト マネージャー			
プロジェクト マネージャー			
シニア マネージャー	交代で 9~6名従事		
管理職員 誘客・運営・施設 部門			
管理職員 陶芸部門			
管理職員 博物館等部門			
管理職員 売店部門	13~7名	26~7名	
計			

(4) 責任体制

※責任者の配置、組織内での責任体制を記載してください。

(指定管理業務の運営体制)

・効果的、効率的な運営を確保するため、指定管理業務の「総括責任者（ゼネラルマネージャー）」を配置するとともに、「誘客集客」部門、「運営企画」部門、「施設管理」部門を設置し、各部門に関わる責任者を定め、責任の所在や所轄業務を明確にし、管理運営に支障が生じないよう一元的な責任体制を構築します。

(各業務の責任体制)

・各部門内に業務毎に作業責任者を定め、業務毎の責任の所轄業務を明確にし、日常的な報告、連絡、相談などの内部コミュニケーションを通じ、各部門責任者にフィードバックし、良好な管理運営フォローアップを図ります。

・作業責任者が、作業ローテーションや事故による休暇などの諸事情によりその任務を遂行出来ない場合の管理運営を円滑に行うため、作業副責任者を定めます。

(運営委員会の設置)

・指定管理業務を適正かつ効率的に運営するために、当団体の構成員による「運営委員会」を設置します。

・事業計画書を作成する際には、適正かつ効率的に運営が行われているかを判断するため運営委員会を開き運営全般の監査を行います。

(運営協議会の設置)

- ・事業の進捗状況・成果(実績)等の確認、情報・意見・提案等の交換等を定期的に行うために、ゼネラルマネージャー、シニアマネージャー、プロジェクトマネージャー(、アドバイザー)で構成する「運営協議会」を設置します。
- ・運営委員会に諮る事項等を決定します。
- ・予め定めた一定の範囲の意思決定権限を、運営委員会から運営協議会に委譲します。

(5) その他

ア 連携・協力団体の状況

越前焼工業協同組合

陶芸に関するアドバイザーとして業務委託を行います。

陶芸教室の運営および伝統工芸の普及において、越前焼工業組合等と連携し、経験豊富な陶芸家を招聘します。

近隣市町村との連携(越前町・越前市・鯖江市等)

校外学習として地元小学校への伝統工芸の普及活動への協力をはじめ、近隣中高大学生によるお茶会の開催、高齢団体や女性部等における各種イベントの案内を行います。ニュースポーツを取り入れ公園全体を活用したイベントや、季節の花のある公園を住民参加で作り上げます。各種スポーツ協会、ジュニアリーダー等の協力を得てイベントを検討し実施します。

六古窯の普及活動、若い世代に働きかけRENEWへは積極的に参画していきます。



陶芸村

文化交流館の利用における連携、若竹壮や樹香苑など周辺宿泊施設、近隣の飲食店と情報の共有を図り各種イベントにおける協力体制を築きます。

情報誌(歩の歩の)は継続して発刊していきます。



近隣企業

外国人就労者への伝統工芸体験や親子教室、敬老の日感謝イベントなどイベントの参画を依頼します。

県内他の施設との連携

越前焼の最盛期は安土桃山時代であるため「一乗谷朝倉氏遺跡博物館」へ講演会の依頼を計画します。

県内に在住中の外国人との交流を図るため「(公財) 福井県国際交流協会」とも連携を行います。外国人から見た伝統工芸についてアドバイスを受け、体験や案内の在り方を研究します。日本食と文化を結び、伝統工芸と飲食や観劇などを組み合わせ、より深く理解できる体験を提供します。

Nohi Bus from Shirakawago to Takayama Non-reserved (白川郷→高山) Price JPY 2,600 ~	Amazing Tokyo 1 Day Tour without Lunch Price JPY 15,000 ~	Cultural Experience Kyoto (Machiya Townhouse tour + Tea ceremony) Price JPY 6,300 ~	Cultural Experience Kyoto (Machiya Townhouse tour + Kimono experience) Price JPY 7,500 ~
Departure : Shirakawago Destination : Takayama Hotel Grade : Validity : 2018-11-01 ~ 2023-12-31 Tour Code : NOHGU003	Departure : Tokyo Destination : Tokyo Hotel Grade : Validity : 2023-05-15 ~ 2023-12-31 Tour Code : DOATY002	Departure : Kyoto Destination : Kyoto Hotel Grade : Validity : 2019-01-04 ~ 2023-12-28 Tour Code : TDYKY091	Departure : Kyoto Destination : Kyoto Hotel Grade : Validity : 2019-01-04 ~ 2023-12-28 Tour Code : TDYKY092

イ 福井県および関係機関との連携

※福井県および関係機関との連絡調整会議の実施方法および頻度等、連携の取組みを具体的に記載してください。

連絡調整会議

福井県が配置する館長、学芸員等および指定管理者が配置する職員で構成します。月 1 回程度開催し、月ごとのイベント等内容の確認を行い利用者の増減を確認します。利用者からアンケートを徴収して顧客の要望・苦情を共有する場を設けます。

利用者のデータ（交通手段、年代、性別、関係等）を集積し今後のイベント等実施の参考とします。利用者にヒアリングを行い顧客のニーズを検討し報告します。

指定管理者から様々な提案の場として活用し協議を行います。

ウ 安全管理および危機管理

※事故や災害防止への取組みや、緊急時の体制、対応等について記載してください。

当団体の代表者グリーンシェルターは、近畿地方整備局および福井県より災害時建設業事

業継続力の認定を受けております。この実績をもとに災害時の対応を強化し、利用者及び施設管理者の災害対策についての対応強化に努めます。

(事故や災害の被害想定)

- ・ 受ける被害を想定し、重要業務の選択、目標時間の設定を行います。
- ・ 安否確認方法を社員内で確認し、二次災害の防止策を検討し、事故災害時の対応体制を整えます。
- ・ 対応拠点、代替連絡拠点を確保し、対応の発動基準を確認します。
- ・ 事故災害時の重要な連絡先を特定し、情報発信、情報共有の方策を確認します。
- ・ 当団体に確保している人的、物的資源を把握し、人員と資機材の調達方法を確認します。
- ・ 訓練と改善の実施を心がけます。

(緊急時の連絡方法と対応)

- ・ 突発的な異常気象による災害が発生した場合には、ゼネラルマネージャー（不在時にはシニアマネージャー）を災害対策本部長とした上で、関係機関への連絡及び対応を行います。
- ・ 緊急連絡体系については各種マニュアルに組み込み、スタッフ全員による教育・研修にて周知徹底を図ります。

災害発生

↓

情報収集

↓

↓

園内巡視

↓

↓

↓

↓

連絡・報告

- ・ テレビ、ラジオ、インターネット、行政機関等からの迅速かつ正確な情報を把握
- ・ 第一発見者からの情報聴取
- ・ 来園者への帰宅や安全な場所への避難誘導
- ・ 被害者を発見した場合には応急手当、搬送の準備
- ・ 異常があった場所、危険箇所への立ち入り防止柵による利用制限
- ・ 異常箇所復旧のための応急措置
- ・ 掲示板等での利用者、避難者への被害情報告知
- ・ 警察署、消防署、近隣医療機関等への緊急車両や支援要請
- ・ 被害復旧に向けた専門業者への要請
- ・ 緊急時マニュアルに沿って各機関への連絡、報告

エ 職員研修および人材育成方針

※職員の業務水準を維持、向上させる方策について記載してください。

質の高い公園管理運営を目差すため、施設の安全管理、接遇、快適な公園管理の3本柱をテーマに管理運営の総合力を高める職員の研修を実施します。

項目	目標	内容・方法	頻度
防災訓練・緊急対応訓練	災害時対応、避難誘導方法の習得	災害発生時などの連絡教育	年1回
普通救命救急講習	心肺蘇生法、AED、止血法の習得	外部講師による教育又は講習会参加	年1回
接遇研修	利用者満足度向上・サービス・コミュニケーション力向上	構成員または外部講師による教育、ユニバーサル教育	年1回
技術・専門教育	植栽・公園施設・施設管理技術の習得、技術向上	内部職員による各専門の研修、外部研修・講習会参加	年1回
指定管理視察	サービスの向上	他の指定管理物件の視察	年1回

オ 指定管理者の業務に対する動機

指定管理を行う上で大切な事は施設の設置目的を十分理解し、その施設の価値を利用者に還元するための管理目標を立て、その目標を行政と共有し、運営を行うことだと考えております。

伝統工芸の越前焼はその認知度は全国から見てもまだまだ低く、周辺の駅からも遠いという問題があります。遠くても行きたい場所として魅力ある公園にするために伝統工芸を安売りすることなく、その価値を高める施策を行いたい。そう考えております。

私たちコンソーシアムは三位一体で公園の運営に臨みます。

まず「日本旅行」です。全国区で旅行業を行い、インバウンドに対する実績も全国第2位の実績を持ち、海外にも拠点を設けております。各々の拠点に人員を配置することで地域に根付いた営業を行っております。近年は地域に根付いた活動として大和ミュージアム（広島県）、三重テラス（東京都）、道の駅四季の郷公園（和歌山県）など指定管理事業や PFI 事業においても活動の幅を広げております。

続いて「ティーツー」です。恐竜に関するコンテンツを用意し、デパート丸ごと恐竜一色に染めるイベントを提供し、一乗谷朝倉氏遺跡博物館では夏休みの子供向けのイベントの企画運営を実施、さらに三国競艇では VR によるリアルに体験できる アトラクション の設置も行いました。東京では バンダイナムコホールディングスグループ の一員として、印刷事業を核に、エンターテインメント及びアミューズメント事業を支援する様々なサービスを展開しております。

最後に「グリーンシェルター」です。国営備北丘陵公園（広島県）では年間50万人以上の利用者を受け入れます。今年5月に開催された広島サミットでは各国の来賓が 縮景園 を訪れ日本文化を堪能していただきました。県内では2014年より テクノポート福井総合公園 でスポーツを通じた県民サービスの提供を行っております。今年度より 坂井市のゆりの里公園 の運営を受託しました。設置目的である農業振興の観点を理解の上、社会が求める公園づくりを目指しております。

われわれの目指す運営は一部の関係者のみでの取り組みではなく、行政・教育・企業・インバウンド・ツーリズムなどの各種事業主体が社会課題にそれぞれの立場から向き合い、どのようにかかわっていけるか考えそれを形にして利用者へのサービスや満足度の向上につなげていきます。さらに三社の連携を強化していくことが当団体の持つ強みを最大限に発揮することが出来、他社との差別化を図ることにつながります。

「誘客・集客」では日本旅行の発信力で様々なお客様を呼び込み、「広報・イベント」ではティーツーのアイデアでお客様を楽しませ、「公園等の維持管理」はグリーンシェルターが安心安全な施設でおもてなしを行います。3社ともに県内を拠点に活動を行っている強みも活かし地域に根付いた施設運営を行います。3社の分野ごとの能力やノウハウを最大限活かした戦略的運営を行いたい、その思いで今回のエントリーに臨みました。

カ 外部委託の方針等

※外部委託の基本的方針および、外部委託を予定している業務の内容、委託先の選定方法等を記載してください。

- ・施設等の維持管理においては全て職員で対応することを基本とします。但し関係法令に基づく法定点検、定期点検や特殊又は専門技術を要する業務については外部委託とします。
- ・地域との協働による地元活性化の視点で、地域に委ねることが一層の効果をもたらす場合は、出来る限り地元発注を心がけます。
- ・委託業務の発注は、時期を逸しないよう、年間作業計画を定め、計画的に実施します。
- ・委託業者には、作業報告書の作成を義務づけ、当団体スタッフが確認を行います。加えて安全対策等の指導強化に努めます。

管理項目	区分	業務内容	選定方法
陶芸全般におけるアドバイザー	公園 陶芸館 博物館	陶芸に関する教室・講座の企画・運営の指導	見積合せ
公園維持管理業務	公園	清掃・消耗品の補充・簡易な修繕・植栽管理	見積合せ
庭園管理業務	陶芸館 博物館	植栽管理	見積合せ
遊具の定期点検	公園	定期点検	見積合せ
池の水浄化業務	陶芸館	池の清掃	見積合せ
除雪業務	公園	除雪	見積合せ
保安警備業務	公園	機械警備	見積合せ
自家用電気設備	陶芸館 博物館	法定点検	見積合せ
産業廃棄物処理業務	公園	廃棄物処理	見積合せ
一般廃棄物収集運搬業務	公園	廃棄物処理	見積合せ
ガス設備保安点検	陶芸館	法定点検	見積合せ

清掃業務	陶芸館 博物館	清掃・消耗品の補 充	見積合せ
消防設備保守点検	公園 陶芸館 博物館	法定点検	見積合せ
冷温水設備保守点検業務	陶芸館 博物館	切替調整・冷房中 間点検	見積合せ
自動ドア保守点検業務	陶芸館	調整・点検・清掃	見積合せ
灯油地下タンク定期点検業務	陶芸館	検査報告	見積合せ
エレベーター保守点検業務	博物館	リモートメンテ ナンス	見積合せ
小荷物専用昇降機保守点検業務	陶芸館	点検	見積合せ

※現状の業務委託者に委託予定

植栽維持管理業務において簡易な業務はシルバー人材センターに委託予定

キ 個人情報取扱いについての考え方

※施設利用者の個人情報の保護について基本的な考え方や情報管理体制等について記載してください。

指定管理業務は公共性を持つ立場となるため、個人情報の収集の制限、利用及び提供の制限、漏洩・滅失・毀損の防止等の適正な管理などについて、県の個人情報保護条例に基づき、個人情報保護に必要な措置を講じ、対応出来る体制を整備します。

(個人情報保護規定の制定)

当団体は、各構成員の規定する個人情報保護規則や守秘義務に関する規定と、県の個人情報保護条例にもとづいた「越前陶芸公園個人情報保護規則」を制定し、個人情報保護を徹底します。

(職員への周知徹底)

個人情報を扱う窓口や事業担当などの職員が意識を持って管理することが重要と考えます。毎年実施する職員研修及び定例会議において下記の内容について周知徹底を図ります。

- ・利用目的を明確にして、必要以上の個人情報は保有しない
- ・利用目的以外に個人情報を利用、提供しない
- ・本人から直接個人情報を取得するときは利用目的を明示する
- ・管理事務所内に保管庫を設置し、個人情報の漏洩防止措置を行う
- ・知り得た情報を他人に知らせたり、不当な目的に使用しない

(個人情報保護措置の検証)

・指定管理業務の期間中、新たな雇用が行われた場合において、各種条例に基づき個人情報保護規則の説明を行い個人情報の利用、取得に関する手順、禁止事項など全職員に指導します。

・運営委員会の監査において、遂行状況や情報管理事項について報告し、保護措置の検証を行います。

5 令和6～10年度までの収支計画

収入

(単位：千円)

項目	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	合計	備考
利用料金収入	24,000	26,000	27,000	28,000	29,000	134,000	
その他の収入	10,500	11,000	12,000	12,000	13,000	58,500	
計 (B)	34,500	37,000	39,000	40,000	42,000	192,500	

目標利用者数	78,000人	82,000人	86,000人	90,00人	94,000人	430,000人	
--------	---------	---------	---------	--------	---------	----------	--

収入は前管理者の状況を分析し平均値を算出しました。その平均値を基に年間5%の上昇を目標に収入を計画しました。

令和2年度から始まったコロナウイルスのパンデミックの状況から、県内の教育関連事業による利用が増え、令和3年度は著しく利用者数が伸びています。この現象は一時的で令和4年度には減少の傾向が見られます。しかしながら令和6年3月には北陸新幹線が開業し、丹南エリアの伝統工芸に再び注目が集まることが予想されます。加えて大河ドラマの主人公が丹南エリアにゆかりのある人物であることも踏まえて、この契機を意識した広告宣伝を行い、利用者の定着を行いたいと考えております。

支出

(単位：千円)

項目	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	合計	備考
人件費	65,400	67,362	69,383	71,464	73,608	347,217	
旅費交通費	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	9,000	
印刷製本費	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	20,000	
修繕費	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500	
保険料	50	50	50	50	50	250	
消耗品費	500	500	500	500	500	2,500	
燃料費	960	960	960	960	960	4,800	
光熱水費	9,242	9,242	9,242	9,242	9,242	46,210	
通信運搬費	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	6,500	
委託費	18,939	19,318	19,704	20,098	20,500	98,559	
広告宣伝費	4,000	3,500	3,000	2,500	2,000	15,000	
自主事業運営費	22,661	22,661	22,661	22,661	22,661	113,305	
管理運営費	16,438	15,438	14,438	14,438	14,438	75,190	
福利厚生費	300	300	300	300	300	1,500	
使用料及び賃借料	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	11,000	
その他の支出	677	677	677	677	677	3,385	
計 (A)	149,967	15,808	151,715	153,690	155,736	761,916	

差引 (A) - (B)	115,467	113,808	112,715	113,690	113,736	569,416	
--------------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--

この金額が、福井県が指定管理者に支払う委託料（消費税および地方消費税額を含む）となります（募集要項で定められた上限額を超えないこと）。

〔積算根拠〕

令和 2 年度から始まったコロナウイルスのパンデミックの状況をから、県内の教育関連事業による利用が増え、令和 3 年度は著しく利用者数が伸びています。この現象は一時的で令和 4 年度には減少の傾向が見られます。しかしながら令和 6 年 3 月には北陸新幹線が開業し、丹南エリアの伝統工芸に再び注目が集まることが予想されます。加えて大河ドラマの主人公が丹南エリアにゆかりのある人物であることも踏まえて、この契機を意識した広告宣伝を行い、利用者の定着を行いたいと考えております。利用者の推移目標をもとに、支出を計画するにあたり、前管理者の状況を分析し平均値を算出しました。

・ 人件費においては近年の最低賃金の伸びが今後も継続することを想定し年間 3%の上昇を見込みました。

委託費については現在の管理者が再委託している事業者からの意見を踏まえて算定しました。

〔経費縮減の主な取組み〕

以下の取組みを実施し、経費縮減を図ります。ただし、必要以上の経費削減や無理な削減は、提供するサービスのレベルおよび利用者の満足度の低下につながり、将来の安定した経営を脅かすことにつながることから、無理なく継続できることを実行し、その効果を最大限にしていきます。

・ 調達業務における仕入価格や業者選定、発注方法の適正化

業者選定に当たっては複数業者からの見積りを徴収するまたは入札を実施することを基本とします。再委託業務の内容により、契約期間を複数年度とすることを検討します。

・ 省エネの推進

施設の利用状況に応じて、設備・機械等のスイッチのON・OFFに取り組み、無駄の削減に取り組みます。電気・水道・燃料の使用量等を記録し、使用量の異常値については、要因・原因を解明し、必要に応じて、職員への注意喚起または修理等を行います。設備等の修繕等に当たっては、LED照明や省エネタイプを導入します。

・ 業務の実施方法の見直し

業務のペーパーレス化を進め、コピー代等を削減します。(報告・連絡等に当たっては、紙への印刷からPDFファイルを送信または共有します。)

利用者からの予約や利用者への連絡に当たり、インターネットやメールの活用を進めます。

(ただし、メールの誤送信等が起きないように運用ルールを策定し、徹底します。)

・ ゼロ・エミッションの推進

剪定枝は、当団体の粉砕機によりチップ化し、施設内の樹木の下に雑草防止として再利用します。